

# 齋藤茂樹の 北関東巡り



令和5年(2023) 3月15日

# 18

前回、ひと昔前のアメリカ・シアトルの桜だよりを書きましたが、今回はふたたび日本に戻ります。シアトルから帰国後の職場があった愛知県など西日本の桜およびその他について紹介します。

東京の桜は昨日開花しました。開花基準となる、靖国神社の標本木は、前日の時点では「開花」基準の5、6輪にわずかに足りず見送りとなりましたが、3月14日の開花は、一昨年と同じく過去最も早い開花タイ記録となります。関西を飛び越して関東が一足早く開花しました。日を追って開花情報が届くことでしょう。

## 愛知県と近隣の城と桜の名所

以前愛知県で仕事をしていた頃に近隣の城や桜の名所をよく散策しました。まずは、名古屋市のシンボル、金シャチが輝く**名古屋城**です。ソメイヨシノやシダレザクラを中心に約10種類、1000本の桜があります。

城内一円で見られるソメイヨシノは3月下旬から4月上旬、緑色の花をつける御衣黄は、他の桜より開花が遅めで、4月中旬頃が見頃です。天守閣と桜を同時に見ることができます。

愛知県小牧市にある標高86メートルほどの小牧山は、**小牧・長久手の戦い**の舞台になるなど歴史色の濃い山城の森です。そこには、私がいた当時、大規模な発掘調査の結果色々なことがわかり、何度も整備され、山頂の三層四階建



ての天守を模した**小牧市歴史館**があり、眼下に濃尾平野が広がります。



また、麓にも**小牧山城史跡情報館**が出来ました。これは、近年の発掘調査で明らかとなつた織田信長が築いた小牧山城の石垣や城下町、小牧・長久手の合戦など、小牧山を取り巻く歴史を、模型や映像を多く使って分かりやすく紹介しています。

城の石垣の歴史の変遷の中でここが重要なポイントだと思うと感慨深いです。



**岡崎城**は、徳川家康が生まれた神君出生の城です。愛知県岡崎市にあります。桜の名所としても大変有名で、2023年は大河ドラマの舞台とあって大いに賑わうことでしょう。龍にまつわる伝説も多く、別名**龍ヶ城**とも呼ばれ、**竹千代**（のちの家康）が誕生した折には、城の上に黒雲が渦巻き、黄金の龍が現れたと伝えられています。昭和34年(1959)に再建された三層五階の復興天守は、岡崎市のシンボルとして市民に愛され親しまれています。岡崎城はその歴史的価値から、平成18年(2006)に「日本100名城」に選定されました。



**犬山城**は、尾張国と美濃国の境、木曽川南岸の地「犬山」、現在の愛知県犬山市にあった城です。天守のみが現存し、江戸時代までに建造された【現存十二天守】のひとつであり、また天守が国宝指定された五城（犬山城、松本城、姫路城、彦根城、松江城）のうちの一つです。

日本で最後まで個人が所有（2004年まで所有）していた城ということです。



**きよすじょう**  
**清洲城**は、愛知県清須市にあった城です。尾張国を中心部に位置し、一時期尾張国の守護所として栄え、京鎌倉往還と伊勢街道が合流し中山道にも連絡する交通の要所として重視されました。



兵庫県姫路市の**姫路城**の桜は壮大ですごかったです。「斎藤茂樹の北関東巡り8」で岐阜県大垣市の大垣城城下にある、奥の細道むすびの地記念館を紹介した時には見つからなかった桜の写真が見つかりました。

**すのまたいちやじょう**  
岐阜県大垣市の**墨俣一夜城**は、信長の美濃攻めで秀吉が短期間で城を作ったという伝説の城です。

大垣市**墨俣歴史資料館**が大垣城を参考にした天守の形をしており、もちろん実際に一夜城がこの地にあったとしてもこのような形でないことは明らかですが、桜の名所としては素晴らしい、毎年桜を見に行っていました。資料館の展示もわかりやすく面白く、好きな場所です





**岐阜城**は、岐阜県岐阜市の金華山にあった山城跡です。もとは**稻葉山城**と言い、鎌倉時代以来の歴史があります。

『信長公記』に「尾張国小真木山より濃州稻葉山へ御越しなり。井口と申すを今度改めて、岐阜と名付けさせられ」と記載されており、ここから信長が山頂にある城や麓にある町などを「井口」から「岐阜」へと改名したことにより「岐阜城」と呼ばれることになったといいます。

**彦根城**は、滋賀県彦根市にあります。天守、附櫓及び多聞櫓は国宝、城跡は特別史跡かつ琵琶湖国定公園第1種特別地域となっています。天守が国宝指定された五城（犬山城、松本城、姫路城、彦根城、松江城）の一つです。



彦根城



彦根城天秤櫓

**安土城**は、滋賀県近江八幡市にあった山城です。城址は国の特別史跡で、琵琶湖国定公園第1種特別地域になっています。

## 茨城・埼玉・長野

**古河公方**は、室町時代後期から戦国時代にかけて、下総国古河（茨城県古河市）を本拠とした関東足利氏のことです。享徳4年(1455)、第5代鎌倉公方・足利成氏が鎌倉から古河に本拠を移し、初代古河公方となりました。その後も約130年間家徳が引き継がれました。御所は主に古河城とされていますが、現在は渡良瀬川河畔に跡地が記録されているだけです。

古河公方を鎌倉公方の嫡流とみなし、両方をあわせて**関東公方**と呼ぶこともあるようです。



**鉢形城**は、埼玉県大里郡寄居町にあった戦国時代の城跡です。構造は連郭式<sup>れんかく</sup>※平山城で、標高は最高点（三の曲輪）で122mもありました。

※連郭式：本丸以下の曲輪が一列に並ぶ縄張である。本丸は縄張りの一番奥に位置する場合と、中間に位置する場合がある。尾根や岬、舌状台地などの細長い高所を横堀で区切ることでこの形式になる場合がほとんどで、何もない平地にあえてこの形式で築かれる例はほとんど見られ

ない。自然地形を最大利用し、少ない労力で防御力の高い城を作れるため、創建が古い時代に遡る城に多い。

(例：松山城（備中国）、松山城（伊予国）、盛岡城、水戸城など)

**高遠城**は、長野県伊那市高遠町にある城跡です。

高遠城址公園は、桜の名所としても有名で、特に珍しい品種である**タカトオコヒガンザクラ**1,500本の樹林が名高いです。国の史跡に指定されています。



## 〔管理者よりひとこと〕

2022年4月、彩の国プラチナ混声合唱団として「信州アルプスシニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 伊那」に参加したとき、高遠城址公園のタカトオコヒガンザクラを観てきました。合せてご覧ください。(K)



[http://rkato.sakura.ne.jp/mushimegane/mm20220420\\_takatokohiganzakura.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/mushimegane/mm20220420_takatokohiganzakura.pdf)



[http://rkato.sakura.ne.jp/music/m171\\_shinshu\\_alps\\_senior\\_gasshosai.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/music/m171_shinshu_alps_senior_gasshosai.pdf)



## 〔 バックナンバー 〕

	齋藤茂樹の北関東巡り 1
	齋藤茂樹の北関東巡り 2
	齋藤茂樹の北関東巡り 3
	齋藤茂樹の北関東巡り 4
	齋藤茂樹の北関東巡り 5
	齋藤茂樹の北関東巡り 6
	齋藤茂樹の北関東巡り 7
	齋藤茂樹の北関東巡り 8
	齋藤茂樹の北関東巡り 9
	齋藤茂樹の北関東巡り 10

	齋藤茂樹の北関東巡り 11
	齋藤茂樹の北関東巡り 12
	齋藤茂樹の北関東巡り 13
	齋藤茂樹の北関東巡り 14
	齋藤茂樹の北関東巡り 15
	齋藤茂樹の北関東巡り 16
	齋藤茂樹の北関東巡り 17

**Back**

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

**Home**

「ホームページ」表紙へ戻る